

<都市住民等との交流を実施している事例>

○集落営農の推進と自然生態系の保全を通じた交流活動

1. 集落協定の概要

市町・協定名	広島県世羅郡世羅町 ^{せらぐんせらちよう} 楽 ^{らく} のう			
協定面積 17ha	田（100%）	畑（0%）	草地（0%）	採草放牧地（0%）
	水稻	—	—	—
交付金額 148 万円	個人配分			0%
	共同取組活動 （100%）	学校教育等との連携		2%
		道水路管理		8%
		その他（積立…共同利用機械購入、役員報酬等）		90%
協定参加者	農業者 28 人 農業生産法人 1 人			

2. 集落マスタープランの概要

少子・高齢化が益々進行する状況の中で、担い手育成，農作業の共同化を図ることにより高齢化した農家や農地を守るとともに，自然生態系や環境を保全しながら，この地域で安心して生活ができる仕組みを実現する。

[活動内容]

農業生産活動等

賃借権設定・農作業委託
体制：担い手候補を選定
定するとともに，効率的な農地利用のための
定例会議を開催
個別対応

農地法面の管理
回数：年 4 回
時期：4 月～9 月
共同取組活動

簡易な基盤整備
内容：水路の補修
規模：延長 100m
共同取組活動

農道・水路の管理
回数：年 4 回
時期：4 月～9 月
共同取組活動

多面的機能増進活動

周辺林地の下草刈り
回数：年 1 回
規模：0.4ha
共同取組活動

魚類・昆虫類の保護
内容：ヒョウモンモドキ等保護
活動と自然観察会
時期：5 月～6 月
共同取組活動

農業生産活動の体制整備

機械・農作業の共同化
内容：高性能防除機の共同
利用による集中防除
目標：2ha（12%）
共同取組活動

認定農業者の育成
目標：1 人
共同取組活動

担い手への農地集積
目標：13ha（70%）
共同取組活動

自然生態系の保全に関する
学校教育との連携
内容：ヒョウモンモドキ保護活
動や自然観察会
回数：年 3 回
共同取組活動

3. 取組の経緯及び内容

当集落は、ほ場整備地区（A 地区：約 15ha）と谷の最上流域に残された棚田地区（B 地区：約 1.4ha）の 2 地区で構成されており、集落営農の推進や自然生態系の保全等を目的に、それぞれの地域実態に応じた協定活動を行っている。

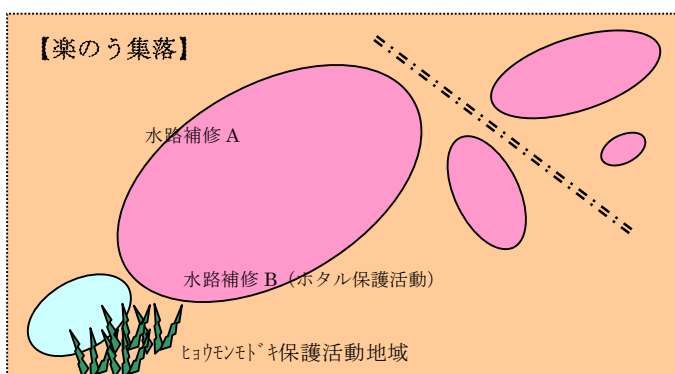
【A 地区】…担い手を中心とした効率的な集落営農の推進地域

- ・ 協定参加者において、生産性向上のための委員会を設け、地域で選定した担い手候補への農地の利用集積や高性能防除機の共同利用等により、農地保全や効率的な農作業体系の構築を図っている。現在、交付金を活用して、新たな共同利用機械の導入を予定。

【B 地区】…自然生態系の保全を通じた交流活動地域

- ・ ヒョウモンモドキ等の保護を目的とした自然生態系保全地域として、地域の小学校やヒョウモンモドキ保護の会と連携し、保護活動や自然観察会等の交流活動を実施。保護活動の一環として、交付金を活用して水路改修を実施。（写真参照）

○農用地等保全マップ



A 地区：

- ・ 水路の補修・改良実施

B 地区：

- ・ ヒョウモンモドキの保護を通じた交流活動

ヒョウモンモドキとは…環境庁（現環境省）のレッドリストで絶滅危惧Ⅰ類に選定されている希少な蝶のこと。



保護地 PR 看板



保護活動の一環として水路改修を実施

【平成 19 年度までの主な効果】

○集落営農の推進に向けた話し合い活動の活発化

【担い手育成等による集落営農の体制整備】

- ・ 認定農業者育成（目標 1 人 H19 実績 0 人）
- ・ 農地の利用集積（目標 13ha H19 実績 0ha）

【機械の共同利用・共同作業による効率化】

- ・ 共同利用・共同作業面積（目標 2ha H19 実績 2ha）

○自然生態系の保全及び地域の小学校や団体との交流活動による地域活性化